令和６年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業

資料３－１

環境省

○リユース関連事業者や市民団体等と連携した先進的なリユース施策を実施しようとする地方公共団体を支援することを目的として、地域の実情に応じた創意工夫による使用済製品等の適正なリユースの推進に資する取組を広く募集し、実施に係る費用の支援及び技術的支援を行った。審査の結果、以下２件の事業を採択し、支援を行った。

地方公共団体名		事業名、実施概要
1	東京都八王子市	**リユース品の訪問回収プロジェクト　～地域のデジタルプラットフォームとの連携～** 市施設にて不要となった再利用可能な品物をごみとして出す前に市民から受け取り、オンラインプラットフォームをはじめとした民間企業のノウハウを活用して、引取りを希望する方へ有償または無償で引渡す取組。本年度はこれまでの取組に加え、様々な事情で品物を持ち込むことが難しい市民の為に戸別回収を新たに実施し、利便性の向上、リユース品の増加やごみ減量を図るとともに、営業日数の増加に向けた検討を行う。
2	福島県郡山市	**リユーススポット実証事業** 粗大ごみとして出品される家具類、スポーツ用品、子ども用品を対象と想定し、「不要だがまだ使える」ものをリユーススポットで収集し、オンラインプラットフォームを通じて必要とする市民に周知・受け渡す取組。次年度以降の事業内容を検討するための実証実験として、リユース品の目利き方法のマニュアル化や、リユースできないものへの対応の検証、運搬の検証等を行う。

リユース品の訪問回収プロジェクト
～地域のデジタルプラットフォームとの連携～（八王子市）

環境省

○株式会社ジモティーと連携し、市施設にてまだ使える不要品を市民から無料で引き取り、オンラインプラットフォーム「ジモティー」に掲載し、必要とされる方に現地で販売・譲渡する事業。
令和６年度は新たに戸別回収を実施し、さらなる利便性向上やリユースの推進を図った。
○ジモティースポットについては次年度も継続実施。戸別回収についてはモデル事業での回収品の内容や回収の効率性、コストを検証し、スポット的な実施を検討する。

事業の全体像

①市民が不要品の持ち込みまたは戸別回収予約をWebで行い、㈱ジモティーが再利用可能と判断した物について、引き取りを行う。
②引き取った品物を ㈱ジモティーがオンラインプラットフォームを活用して値段を付けて出品し（一部無料）、引き取り手を探す。
③購入を希望する方は、オンラインプラットフォームから出品物を確認し、ジモティースポット八王子で有償又は無償にて品物を引き取る。

取組の様子

ジモティースポット八王子の様子

戸別回収の様子

取組の成果

【ジモティースポット実績（令和６年６月～12月の出品について）】
・総出品数：13,475品　　・引渡し数：11,943品
・リユース率：88.6%（品目ベース）・リユース量：56t
【戸別回収実績（令和６年9月～12月）】
・回収件数：115件　　・回収品数：1,678品
【取り扱った主な品目】
家具、食器、電化製品、趣味、乳児用具・子ども遊具
【アンケート調査結果】
戸別回収は利用しやすいという回答が８割。
戸別回収の継続を望む声が多くあった。
スポットへの持ち込み利用者はリピーターが4割。

リユース品の訪問回収プロジェクト
～地域のデジタルプラットフォームとの連携～（八王子市）

環境省

事業概要、実施体制、効果検証と事業成果、課題と展望

事業概要	＜訪問回収＞※新規事業として、モデル事業で実施。 ・実施期間：訪問回収の実施／令和６年９月27日～12月６日 隔週金曜日に計６回実施 ・対象地域：ジモティースポット八王子より半径約4km、約173,000世帯が対象。 ・搬出方法：玄関先での対面引き取り後、軽トラ・2トン車の２台でスポットまで運搬（申込に併せて配車を調整）。
	＜ジモティースポットの運営＞ ・実施期間：令和６年４月１日～ ・営業日時：金・土・日曜 10:00～16:30 ・実施場所：北野環境学習センター「あったかホール」１階（市の環境学習室や体育館等を併設した施設） （売り場面積　約100m2、倉庫面積　約40m2） ・取扱品目：家具（３辺合計180cm以内）、食器、電化製品、趣味、乳児用具・子ども遊具　等（※出品数の多い順） ・引渡価格：有償又は無償
効果検証と事業成果	＜訪問回収＞ ・申込件数：597件、回収件数：115件、回収品数：1,678品（うち、544品を出品　※令和６年12月末時点） ※売り場スペースが不足しており、出品できずに保管されたままの回収品が現時点では多い。 ・アンケート（n=42）より、50代以上の利用が約７割を占め、「自家用車を持たない」「高齢で搬出が難しい」などの理由から、訪問回収の継続を求める声が多かった。 ＜ジモティースポットの運営＞ ※令和６年６月～12月の出品について ・出品数：13,475品（約63トン）、引渡数：11,943品（約56トン）、リユース率：88.6%（89.3%_重量ベース） ・ごみ減量効果の観点では、家具が2,463品（約18トン）、電化製品が1,759品（約11トン）と多かった。
事業の評価・課題	・市としての評価：令和７年度も継続実施を予定。 ✓ リユースショップで取扱いが難しい品目について、３か年で約144トンのリユース・ごみ減量に貢献。 リユース率も90%を超え、継続実施によってリピーターも増加している（持ち込み者の36.2%がリピーター）。 ✓ スポット利用を通じた市民の環境意識の向上のほか、スポット設置施設の利用と相乗効果も生まれている。 ・今後の課題など ✓ 訪問回収：運搬費の高騰に対応するため、購入需要が高い品目を効率的に回収する方法の検討が必要。 ✓ スポット運営：売り場スペースが不足し、品物の滞留が発生。運営日の増加とスペースの確保について検討が必要。

リユーススポット実証事業（福島県郡山市）

環境省

○ 郡山市が市の直営事業として、市民が自宅にある「不要だけどまだ使える物」を持込み、欲しい方に譲り渡す拠点（リユーススポット）を開設・運営。
○ 市域が広いという特徴を踏まえ、常設リユーススポット（１か所）と、１日限定開催の臨時リユーススポット（計６か所）を開設。より多くの市民の参加を可能にした。
○ 今後、市民のリユース意識を醸成しながら、県内他自治体への情報提供により横展開予定。

事業の全体像

市民が持ち込んだリユース品をリユーススポットで展示（大型家具はHPでも紹介）。欲しい人へ引き渡す。持込も引渡も全て無料。
３週間程度展示してもリユースされないものは、リサイクル又は処分した。

市民等

持込

引渡

リユースされた物

リユーススポット
○運営
５Ｒ推進課（１名常駐）
⇒職員12名による輪番制
○運営補助
グンダスト事業協同組合（２名常駐）
⇒運営補助業務委託
常設スポット（場所提供　資源循環課）
臨時スポット（場所提供　市公共施設）

リサイクル

リユースされなかった物

廃棄

郡山地区再生資源協同組合
(衣類、バッグ、陶器、ガラス食器、書籍)

資源循環課(クリーンセンター)

取組の様子

持ち込まれたリユース品の展示状況

引渡時の計量の状況

取組の成果

○実証実績（開設期間：令和６年10月３日～12月13日）

持ち込まれた量	20.6 トン	49,369点
引渡された量	15.0 トン (72.7%)	32,805点（66.4%）
リサイクルされた量	5.1 トン (24.7%)	15,078点（30.5%）
廃棄された量	0.5 トン (2.6%)	1,486点　（3.0%）

○アンケート結果
- 事業継続を望む回答：　96.6%

リユーススポット実証事業（福島県郡山市）

環境省

事業概要、実施体制、効果検証と事業成果、課題と展望

事業概要	<常設リユーススポットの運営> ・実施期間：令和６年10月３日～12月13日（計52日。会場設営 10月１～２日、閉鎖業務 12月16～20日） ・営業日時：月曜～金曜（祝日含む） 09:00～16:00 ・実施場所：一般廃棄物処理施設 河内クリーンセンター 管理棟玄関ホール（家具置き場 約24m2、その他置き場 約24m2） ※選定条件：駐車場の広さ、長期間借用できるスペースの有無、リユースされなかった物の廃棄が容易であること ・取扱品目：陶器・食器、衣類、書籍、日用雑貨、CD・DVD、バッグ、家具、スポーツ用品 （※出品数の多い順） ※大型家具についてはジモティー郡山市公式ページに掲載し、情報を周知した。 ・引渡価格：無償
	<臨時リユーススポットの運営> ・営業日時：土曜日（計６施設で、７回開催） ・実施場所：市の公共施設（市役所、公民館、体育館。部屋面積 約20m2 ～ 55m2。体育館は約75m2。） ※選定条件：駐車場の広さ、常設スポットから離れていること、来場者の出入りが容易であること ・取扱品目：常設スポットのうち、大型のものを除く ・引渡価格：無償
効果検証と事業成果	・来場者数：常設リユーススポット 2,892人、臨時リユーススポット 1,266人 ・回収数：49,369点（約20.6トン）、引渡数：32,805点（約15トン）、リユース率：66.4%（72.7%_重量ベース） ※残りのうち、再生資源協同組合にて15,078点（約5.1トン）がリサイクルされ、最終的な廃棄は1,486点（約0.5トン）。 ※ごみ減量の観点では、陶器・食器が9,756点（約4.3トン）、家具が298点（約3.3トン）、日用雑貨が8,275点（約3.0トン）と多かった。 ・アンケート（n=930）より、60代から70代の女性の利用が多く、満足度は79.5%、事業継続の希望者は96.6%であった。
事業の評価・課題	・市としての評価：令和７年度も継続実施を予定。 ✓ 当初想定したリユース率よりも高い結果であり、２か月半の事業で約15トンのリユース・ごみ減量に貢献。ごみ排出量が多く、様々なごみ減量政策を模索する市にとっては、効果的な事業であったと評価。 ✓ 「市の事業だから」と気軽に安心して持ち込める環境を創出し、市民のリユース意識の向上にもつながった。 ・今後の課題など ✓ 財源の確保（引渡しの有償化も検討）、運営方法・品目目利きのマニュアル化、広報の強化・利用率の向上。 ✓ 民間事業者にもリユース品取扱状況の情報を共有し、リユースショップの受入れ体制の拡充に向けて啓発も図りたい。